

公共事業継続箇所評価調書

(様式5)

評価確定日(令和7年9月30日)

事業コード	R7-建-継-06	区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	広域基幹河川改修事業	部局課室名	建設部 河川砂防課
事業種別	河川改修	班 名	河川・砂防・海岸チーム(tel) 2514
路線名等	一級河川 新城川	担当課長名	河川砂防課長 高杉 英幹
箇所名	秋田市下新城	担当者名	チームリーダー 外館 英樹
プランとの 関連	戦 略	防災減災・交通基盤	
	目指す姿	強靱な県土の実現と防災力の強化	
	施策の方向性	頻発化・激甚化する水災害に備えた流域治水対策の推進	

1. 事業の概要

事業期間	H3 ~ R20 (48年)	総事業費	136.8 億円	国庫補助率	1/2	
事業規模	計画延長 L=4,700m 計画高水流量 Q=380~410m <sup>3</sup> /s (1/10~1/15)					
事業の立案 に至る背景	新城川は島合川合流点下流部2.8km(河口部~島合川合流点)が中小河川改修事業として平成2年度で改修済となっている。島合川合流点上流部は河積が小さく蛇行しており、近年の集中豪雨により毎年のように溢水氾濫が発生し、家屋、耕地に甚大な被害を与えている。 このような状況下、地域住民は治水対策を熱望しており、早期の河川改修を実現し、住民を洪水から守り、民生の安定を図るものである。					
事業目的	下流の中小河川改修事業区間と整合を計り、流下能力不足区間の断面を拡大することで、浸水被害の解消を図る。					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		前回評価	今回評価	増 減	理 由 等	
	事業費	13,678,000	13,678,000	0		
	経費内訳	工事費	8,860,060	8,860,060	0	
		用補費	3,477,755	3,477,755	0	
		その他	1,340,185	1,340,185	0	
	財源内訳	国庫補助	6,839,000	6,839,000		
		県債	6,155,100	6,155,100		
その他						
事業内容	683,900	683,900				
事業内容	築堤、掘削工、橋梁工等	築堤、掘削工、橋梁工等				
事業の進捗状況	全体事業費 136.8 億円 R6年度未投資額 104.3 億円 進捗率 76.2 % 中流部までのL=2,950mは通水済みであり、上流部の未整備区間の事業用地買収及び河道掘削等を進めている。					
事業推進上の課題	上流部の早期治水効果の発現とコスト削減を推進し事業の進捗を図っていく必要がある。					
関連する計画等	「~大変革の時代~新秋田元気創造プラン」において、6つの重点戦略とあわせて推進する基本的な政策として「防災減災・交通基盤」が位置づけられている。					
情勢の変化及び長期継続の理由	平成18年7月の洪水被害を受け、下流部については緊急的に鉄道橋・道路橋緊急対策事業を投入したほか、中流部については令和7年3月にL=2,400m区間の通水が完了し、順次事業の進捗を図っている。					
事業効果 把握の手法 及び効果	指 標 名	河川整備率				
	指 標 式	河川整備率=改修延長/要改修延長				
	指 標 の 種 類	○ 成果指標 ● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無		
	目 標 値 a	46.8% (R6末目標)	データ等の出典	河川砂防課調べ		
	実 績 値 b	46.9% (R6末実績)				
達成率 b/a	100.2%	把握の時期	令和7年 3月			

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> <b>継続</b> ● 改善    ● 見直し    ● 保留または中止
	<b>①指摘事項</b> 特になし
	<b>②指摘事項への対応</b> 特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	蛇行が著しく狭小な河川であるため、毎年のように洪水被害が発生している。家屋や耕地等への被害が絶えない状況にあるため、早期完成が熱望されている。 浸水区域内には、下新城小学校や下新城地区コミュニティセンターが含まれるため、事業の必要性が高い。	30点
緊 急 性	改修目標流量に対する現況流下能力40%に達しておらず、また事業区域は秋田県水防計画で重要水防区域と定められているため、事業の緊急性は高い。	13点
有 効 性	当事業は、河道改修及び河道拡大等を実施することにより洪水被害防止効果の発現が期待できるものであり、有効性は高い。 また、都市計画区域の存する地域であり、事業実施により安全に川と親しむ場として利用されることが期待される	15点
効 率 性	[費用対効果] 費用便益費は、1.26であり、効率性は高い。  [コスト削減の取組状況] 架替える橋梁の統合、掘削土砂の有効活用等により、コスト削減を図る。	15点
熱 度	平成3年から当事業を実施しているが、その間も毎年の様に洪水被害が発生していることから、地元では事業の促進を求めている。 また、中流部までのL=2,950m区間が通水し、一定の効果を発現していることから、上流部の住民の事業の促進に対する期待は高まっている	23点
判 定	<b>ランク ( ● I ○ II ○ III )</b> 多くの項目において評価点が高く、住民の生命と財産を守り、県土の保全と防災力の強化を推進する上でも有効な事業箇所であるため、引き続き実施すべきと考える。	96点
総 合 評 価	<input checked="" type="radio"/> <b>継続</b> ● 改善して継続    ● 見直し    ● 中止 事業の継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

橋梁の統合や残土の有効利用を図るなど、コスト削減に努めながら、事業を継続する。
---

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。
--------------

公共事業箇所評価基準

評価種別 継続箇所評価  
適用基準名 河川改修事業

事業コード ( R7-建-継-06 )  
箇所名 ( 秋田市飯島〜下新城 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	想定氾濫区域内の状況					
	浸水戸数	50戸以上	10	10	442戸 (S62) 99戸 (H19)	
		10戸以上49戸以下	7			
		9戸以下	3			
	浸水面積	60ha以上	10	10	474ha (S62) 450ha (H19)	
		10ha以上60ha未満	7			
		10ha未満	3			
	重要な公共施設	3施設以上	5	5	土崎消防署飯島分署 下新城小学校 下新城コミュニティセンター	
		1施設以上	3			
		なし	0			
整備計画の策定						
関係者、関係機関との調整	整備計画策定済み	5	5	整備計画策定済み		
	協議中であるが特段問題ない	3				
	策定に着手していないが予定がある	1				
	予定なし	0				
計			30	30		
緊急性	災害発生の危険度					
	改修目標流量に対する現況流下能力	40%未満	10	10	計画流量380m <sup>3</sup> /sに対し、 現況流下能力80m <sup>3</sup> /s 21%	
		40%以上60%未満	7			
		60%以上	5			
	秋田県水防計画					
重要水防地域	評定基準区分A	5	3	R7水防計画書より区分B		
	評定基準区分B	3				
計			15	13		
有効性	河川整備の有効性					
	安全度	災害防止等効果が発現する	7	7	家屋浸水被害の解消が図られる	
		災害防止効果は現状と変わらない	0			
	親水性	安全に川と親しむ場として利用が見込まれる	5	5	景観に配慮した護岸整備、 河道法面の緩傾斜化	
		親水性は現状と変わらない	0			
地域開発の状況	都市計画区域の存する地域	3	3	秋田県都市計画区域図		
	地域開発の計画がある	1				
計			15	15		
効率性	事業の投資効果					
	費用便益比 (B/C)	1.0以上	5	5	費用便益比1.26	
		1.0未満	0			
	事業実施コストの縮減					
	該当項目数	3項目以上	5	5	再生骨材の利用 架替橋梁の統合 残土他工区等流用	
		2項目	3			
		1項目	1			
なし		0				
前回計画との比較						
前回計画事業費からの縮減	減少または10%未満の増加	5	5	変更なし		
	10%以上30%未満の増加	3				
	30%以上の増加	0				
計			15	15		
熟度	地元の状況					
	地域住民の事業実施の意向	意向が強く要件の同意をクリアしている	5	5	新城川期成同盟会	
		意向が強く要件の同意を概ね得ている	3			
		意向が一部で強いがまだ要件の同意は得ていない	1			
	市町村の参画	積極的に参画し要望書等の提出がある	5	5	要望書R6.8 秋田市	
		参画している	3			
		参画していない	0			
	事業の進捗状況					
	進捗率 (事業費)	8割以上完了	10	8	(R6末) 104.3/(計 画) 136.8=76.2%	
		5割以上完了	8			
1割以上完了		5				
1割未満		2				
環境との調和への配慮状況						
環境保全への配慮 (秋田県公共事業環境配慮システムでの環境配慮事項)	3事項以上	5	5	秋田県認定リサイクル製品の適用 省エネルギー対策に配慮 省エネルギーに配慮した建設資材の活用		
	1事項以上	3				
	環境配慮事項がない	0				
計			25	23		
合計			100	96		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		